

日本NPO学会学術研究委員会企画

第19回日本NPO学会賞（優秀賞）受賞記念講演会

NPO法人制度の『これまで』 と『これから』を考える

原田峻 『ロビイングの政治社会学—NPO法制定・改正をめぐる政策過程と社会運動』

2021年11月20日（土）13:30-15:30

ZOOM開催：非学会員参加歓迎

第I部： 原田峻さん（立教大学コミュニティ
福祉学部 准教授） 受賞記念講演

ロビイング研究の視角から見たNPO法



第II部： パネルディスカッション

NPO制度は何を果たしたか、そしてこれから何を果たすべきか

パネリスト： 原田峻さん（立教大学）
実吉威さん（ひょうごコミュニティ財団）
秋山訓子さん（朝日新聞）

日本NPO学会では、NPO等に関する優れた著作に対して「日本NPO学会賞」を決定しております。このたび、第19回日本NPO学会賞優秀賞を受賞されました 原田峻さんの『ロビイングの政治社会学—NPO法制定・改正をめぐる政策過程と社会運動』（2020, 有斐閣）の受賞記念講演会を開催いたします。

また第II部では、原田さんに加え、実践者からひょうごコミュニティ財団の実吉威さん、言論界から朝日新聞の秋山訓子さんにお入り頂き、NPO制度やNPOの活動が持った意味、現状の課題、そして今後の可能性などについてご議論を頂きます。

「NPO法」のたどった過程をロビイングという視点からお話頂く講演、そして三者三様の視点からのディスカッションは、NPOに関する実践者や研究者・学生の皆様にとって大変参考となるものと思います。本講演会の参加は非会員の方でも可能ですので、ふるってご参加ください。

（申込：右QRコードあるいは [HTTPS://FORMS.GLE/WSWRCGWAMACZMGD16](https://forms.gle/WSWRCGWAMACZMGD16)）



第19回日本NPO学会賞（優秀賞）受賞記念講演会

登壇者ご紹介

第I部：記念講演&第II部：パネルディスカッション

原田峻さん

（立教大学コミュニティ福祉学部 准教授）



東京大学大学院人文社会系研究科博士課程満期退学、博士（社会学）。金城学院大学講師などを経て、2021年より現職。専門はNPO論、社会運動論、地域社会学。NPO法人埼玉広域避難者支援センター理事。

博士論文のテーマとしてNPO法のロビイングを研究し、NPO法人まちぼっとの「NPO法制度の制定過程の記録保存と編纂」事業に参加。関係者へのインタビューや文書資料をもとにロビイングの存立条件・戦略とその帰結を分析して、『ロビイングの政治社会学』（有斐閣、日本NPO学会賞（優秀賞）・地域社会学会奨励賞受賞）にまとめた。また、東日本大震災後の広域避難者支援の研究・実践に関わり、成果に『避難と支援』（共著、新泉社、日本NPO学会賞（優秀賞）・地域社会学会賞受賞）がある。他の著書に『3・11後の社会運動』（共著、筑摩書房）など。

第II部：パネルディスカッション

実吉威さん

（公益財団ひょうご
コミュニティ財団
代表理事）



秋山訓子さん

（朝日新聞
編集委員）



バブル期の金融機関に2年だけ勤めたのちフリーターとなり海外を放浪。京都で山寺暮らしをしていた時期に阪神・淡路大震災に遭い、意図せずボランティア、NPOの世界に。そこでの出会いに目を開かれ、以来、直接支援ではなく「支える人を支える」間接支援（中間支援）に専ら従事。この10年ほどは寄付の可能性を信じて2013年にひょうごコミュニティ財団を設立。民間資金（主に寄付）を基盤とするNPOの活動基盤づくりに傾注している。NPO法については1996～97年の法案の時代から関わり、法成立後も法改正、寄付税制改正等に関わってきた。

大学卒業後、朝日新聞社入社。横浜支局、政治部、アエラ編集部などを経て、政治担当の編集委員。政治部では首相官邸、自民党、民主党、外務省などを担当。著書に『ゆっくりやさしく社会を変える NPOで輝く女たち』（講談社）『女は「政治」に向かないの？』（講談社）『不思議の国会・政界用語ノート』（さくら舎）『コーヒーを味わうように民主主義をつくりこむ』（現代書館）など。最新刊は『クラウドファンディングで社会をつくる 人はなぜ寄付するのか？』（現代書館）。ロンドン政治経済学院（LSE）修士。